

記事選び、親子で会話 本社でセミナー開催



紙面の中からお気に入りの記事を探す参加者
＝26日、福井新聞社



新聞を活用した教育活動への理解を深めようと、県NIE

E教育研究会は26日、福井新聞社で本年度第3回のNIEセミナーを開いた。参加者は新聞をコミュニケーションツールとして使い、伝える力や書く力を育む方法を学んだ。

親子や教員ら約20人が参加。福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターが講師を務めた。

ワークショップでは2人1組となり、当日の紙面からお気に入りの記事を探すとともに、相手を選んだ記事を予想した。家族3人で参加し

た鳴海沙英子さん(41)＝福井市＝は、長男の道了君(鷹巣小6年)が「スポーツが好きだから」と、大相撲初場所やサッカーアジア杯の記事を選ぶと予想、見事的中させた。鳴海さんは「新聞を通して楽しく会話できた。子どもには今以上に新聞に親しんでもらえれば」と話していた。

徳島コーディネーターは「コミュニケーションを深める手段として学校や家庭で取り組んでみてほしい」と呼び掛けた。セミナーではこのほか、新聞の見出しから「温かい言葉」「悲しい言葉」を切り抜き、その言葉を使って、自分の心を表現する文章を書くワークショップにも取り組んだ。(宇野和宏)